



バレンタインマルシェ2025 スイーツによるまちづくりと魅力の発信

◆主催：Mビル（合同会社おひさま）

2025年2月9日（日）に、瑞浪駅前広場一帯で「バレンタインマルシェ2025」が開催されました。東濃地域を中心に、スイーツやコーヒー等の様々な飲食店を集め、瑞浪駅前を盛り上げるイベントです。午後から雪がちらつく真冬のイベントでしたが、午前中は晴天に恵まれ、ご家族連れを中心に多くの方が来場されていました。

■ 瑞浪高校生徒によるかぼちゃサブレの販売

瑞浪駅前にあるMビル内では、地元瑞浪高校の生徒が考案し、恵那川上屋が商品化した「岐阜・瑞浪サブレ」が販売されていました。このサブレは、瑞浪市日吉町半原地区の伝統野菜「半原かぼちゃ」を使用した焼き菓子です。パッケージデザインも、地元瑞浪出身のイラストレーター中山尚子さんが手がけた、地元愛にあふれる商品です。この日は休日にもかかわらず、瑞浪高校



▲かぼちゃサブレを販売する瑞浪高校の生徒さん

の生徒さんが、積極的に来場者の方に瑞浪サブレの販売やPRをされていました。また、サブレ販売の他にも、ビーズでアクセサリーを作るワークショップなど、子供も大人も楽しめる企画を、瑞浪高校の生徒さんが生き生きと行っている姿が見られました。

■ クッキーの上に自由にお絵かき

クリエイティブスペースあびす屋内では、クッキーの上にチョコペンで絵を描く、「お絵かきクッキー屋」イベントが開催されていました。赤・青・黄色と様々な色のチョコペンを使用して、子供たちがクッキーの上に自由にお絵かきをします。お父さんお母さんにアドバイスを受けながら、一生懸命絵を描いている子供たちで賑わっていました。



▲クッキーの上に絵を描く子供たち

■ 豆の輸入から自社で行うこだわりのチョコ

駅前広場一帯では、複数のテントやキッチンカーの出店があり、盛り上がりを見せていました。美濃加茂市の「COCORO FIOCCO」さんのテントでは、自社でカカオ豆を輸入し、選別・加工したこだわりのチョコレートを販売していました。



▲カカオ豆を輸入し自社製造したチョコの販売

この会社では、チョコレート製造において、障がいのある方の就労支援にも取り組んでいるとのことでしたが、恵那市から参加の「3 C A F E」さんも、就労支援で生産された「久遠チョコレート」を販売している様子が見られ、社会性の高い事業に取り組まれている事業者さんの多さにも感銘を受けました。

■ 地元の力で駅前を盛り上げたい

当イベントを主催するMビル（合同会社おひさま）の石田さんにお話を伺いました。

「このバレンタインマルシェのイベントは、今回で3回目となります。徐々に認知度が高まり、地元の方を中心に多くの方にご来場いただきとてもありがたいです。始めた頃は、ちょうどコロ

ナ禍で出歩く人も少なかったため、イベントの開催によって、出店者や商店街の売上アップを図るとともに、駅前をもっと盛り上げていきたいと思い始めました。このイベントには、地元瑞浪高校の生徒さんが探求学習科目の一環として参加してくれています。またこのイベントに合わせて、店舗前で縁日を開催していただいている商店街店舗さんもあり、とても助かっています。こういった地元の力を結集して、これからも駅前地域を盛り上げていけたらと思います。」



▲ミヤケ写真館前で縁日を同日開催

瑞浪市商店街連合会会長の有賀さんにもお話を伺いました。

「瑞浪商店街としても、このようなイベントの開催は、地域を盛り上げる取り組みとして、とてもありがたく感じています。組合員の減少、高齢化、後継者不足などに加え、大手デベロッパーによる駅前の再開発案などもあり、当商店街は現在様々な課題を抱えていますが、こういったイベントと積極的にかかわり、タイアップすることで、現在の商店街活性化と将来の再開発後に向けた、地域の活性化を考える機会にできたらと思います。」

完全個室の癒しの空間を提供 美容室L I L Y

◆大垣駅前商店街振興組合

「美容室L I L Y(リリィ)」は、大垣駅前商店街に位置する美容室です。約1年前に改装を終えた、とても近代的で綺麗な外観が印象的な店

舗です。オーナーの長屋謙太さんにお話を伺いました。



▲大垣の美容室L I L Y

——貴店の歴史を教えてください。

2009年創業ですので、今年で16年目になります。以前は別の美容室で働いていましたが、居抜き物件としてこの場所のお話を伺い、思い切ってこちらで独立開業し今に至ります。当時はかなり古い建物でしたが、2度の改装を経てとても綺麗になりました。



▲改装したばかりでとても綺麗な店内

——お客様はどのような方が多いですか。

やはり女性の方が多いです。年齢層は30～50代の方が中心ですが、20代、60代の方もいらっしゃいます。新規は全体の1割程度で、ほとんどがリピートの常連のお客様です。オープン当初から10年以上通っていただいているお客様もいらっしゃいます。

——従業員の方はいらっしゃいますか。

以前は鏡が6面ある店で、スタッフも雇って運営していましたが、現在は完全個室にして一人で運営しています。スタッフが辞めた時に、試しに一度一人でやってみようと思い、全ての

サービスを一人で行う形態にしたところ、思いのほかお客様からの反応がよく、現在の完全予約個室制に切り替えました。カット・シャンプー・カラーと、その都度担当がコロコロ切り替わるシステムよりも、マンツーマンで全てのサービスを行う方が、お客様も安心してサービスを受けられ喜ばれることに気づきました。個室にして値段は少し上がりましたが、それでも継続してくてるお客様が多く、とてもありがたいです。

——貴店の強みはなんですか。

背面からシャンプー台が出る椅子を導入しているため、お客様は一度椅子に座ると、全てのサービスが終わるまで椅子を立つ必要がありません。お客様に移動をお願いすることなく、最後までゆっくり座っていただけるのが、他店にはない強みの一つです。ご年配のお客様や足の悪いお客様にはとても喜ばれています。また、当店ではリラクゼーションメニューにも力を入れています。リラクゼーション効果があるドライヘッドスパという、頭皮を揉みほぐすマッサージなども提供しています。副交感神経が高まり、施術中に寝てしまうお客様もいらっしゃるほど、リラックスできます。カットやパーマによる美しさだけでなく、日ごろのストレス解消などもお客様に提供できていると思います。



▲背面からシャンプー台が出る椅子

——事業を進めていくうえで心がけていることはありますか。

完全個室制のマンツーマンで行っているため、とにかくお客様に安心感を与えられるよう

に気を配っています。よく大きな美容室などでは、スタッフにノルマを設けて、追加のサービスを勧めたり、シャンプーやスタイリング剤などを勧めたりしますが、当店ではサービスや商品の押し売りなどは決してしません。まずは時間をかけて信頼関係を構築し、お客様から髪や頭皮の悩みなどをお聞きした際は、お勧めの商品があればご紹介させていただいております。

——今後の目標を教えてください。



▲オーナーの長屋謙太さん

1年前に改装しましたが、まだ使っていない部屋がいくつかあるため、経験のあるスタッフを1～2名雇って、完全個室サービスを拡充していきたいです。リラクゼーションメニュー専用の部屋を作り、ヘッドスパだけを受けに来るお客様を受け付けていくことも計画しています。また、今の店舗が充実してきた暁には、この商店街の空き店舗で、別のコンセプトのお店を出店してみたいです。エステ系のお店とかやってみたいですね。新しいお店を出店することで、日頃からお世話になっている商店街に少しでも貢献出来たらと思っています。

美容室L I L Y(リリィ)

岐阜県大垣市東外側町2-3

TEL: 0584-71-9100

営業時間: 10:00～20:00

定休日: 毎週月曜日

【取材・記事 中小企業診断士 足立信秀】

◆ 全国商店街創生セミナー(令和6年度第2回全国商店街青年部指導者研修会・第2回都道府県振連職員講習会合同)

2025年2月18日(火)～19日(水)に、沖縄県那覇市において全国商店街創生セミナー(令和6年度第2回全国商店街青年部指導者研修会・都道府県振連職員講習会合同)が開催されました。

2月18日(1日目)は、「沖縄で商店街の未来

のコトを話そう」をテーマに、「ワールドカフェ」を実施しました。ファシリテーターの協働促進社 平井雅代表より、ワールドカフェの概要や目的、進行方法などの説明がありました。

4人1組のグループになり、向き合って座った膝の上にえんたくんを置きます。えんたくん



▲平井雅氏



▲ワールドカフェの様子

とは丸い段ボールで、その上に模造紙を置き、問いや意見についてマジックで自由に書き込みます。1回20分のグループ討論を4回実施します。

1つ目の問いは、「商店街青年部としてあなたが心の底から願っている地域の未来ってどんなイメージですか？」のテーマで、商店街の紹介や現状の課題が出てきました。また、青年部がない組合や高齢化問題、次世代の担い手となる方に関わってもらいたいなどの願いが出てきました。

次に2つ目の問いは、「商店街青年部としてあなたが地域の未来をつくるために、3年後までに実現したいことは何ですか？」のテーマです。青年部や仲間を作るや青年部を再活動させるなど、前向きな意見が出ていました。

最初は緊張感もあり、戸惑いもありましたが、徐々に和やかになり、自由な意見が出るようになりました。ワールドカフェの目的は、結論を出したり、課題を解決することではありません。参加者が自由に意見を出し合い、共有することが最大の目的です。

2月19日(2日目)は、那覇市国際通り商店街振興組合連合会の和田紘明理事より、「日本最大規模 計98台のデジタルサイネージを活用したエリアマネジメント」をテーマにお話をいただきました。

那覇市の人口は約31万人で、観光客数は約740万人(令和5年)の観光都市です。伝統工芸品、食文化、民謡など様々な魅了する文化が継



▲国際通りのデジタルサイネージ

承されています。

商店街活動では、毎週日曜日に12時から18時まで歩行者天国にし、オープンカフェや各種イベントを開催している「トランジットマイル」や、1995年から開催し、2025年で30回目を迎えた「一万人のエイサー踊り隊」を開催し、文化振興、商店街振興に努めています。

国際都市へと発展し続けている国際通りが抱える問題として、県外からの出店の増加で、お互いの顔が見えない商店街になっていること、次世代の担い手不足、観光客の増加によるゴミの不法投棄問題や違法看板、路上喫煙などの環境整備などがあげられます。

そんな中、中心市街エリアで、商店街や通り会の垣根を越えて活動する「なはまちぐわー青年部」が発足されました。まちぐわーとは、沖縄の方言で「市場・商店街」のことです。

2024年6月より、国際通り商店街振興組合連合会と沖縄電力株式会社、株式会社琉球新報社の3団体で構成した、沖縄振興エリアマネジメント推進共同体で、デジタルサイネージを活用した取り組みを開始しました。国際通りの1.6kmの沿道にキューブ型49台、地上機49台の計98台を設置しています。

民間事業者等の有料商業広告の他、観光やイベント情報、防災・災害に関する情報、防犯に役立つ情報など行政とも連携をしています。

また、緊急時防災情報のLアラート、Jアラートが発令された場合、アラート音が鳴り、自動で情報が配信されます。

この事業収益は、商店街の課題解決など、エリアマネジメントに活用されています。



国際通り ▲国際通りのデジタルサイネージ

商店街の取り組みやなはまちぐわー青年部の活動を聞き、自主事業で収益をあげ、地域に貢献できる仕組みを構築し、商店街の活性化につなげるなど、考えさせられる機会を得られたと思います。事業規模が大きいですが、エリアマネジメントに取り組む姿勢や考えは、とても参考になったと思います。

つづいて、中小企業庁経営支援部商業課 伊奈友子課長より、今後の中小商業支援策等について解説がありました。

商店街は、地域コミュニティの拠点として重要な「場」であり、この場を活かして、地域コミュニティや日常生活に必要なサービスの提供が維持されるよう、地域資源を活かしたまち

づくりに取り組み、地域の中で人流を生み、消費につながる経済循環を生み出すことが必要であるなど、今後の中心市街地・商店街等の活性化施策についてお話がありました。

また、商店街等で活用できる施策について、IT導入補助金や中小企業省力化投資補助事業、事業再構築補助金などの施策の事例説明がありました。

最後に、貴重な機会を設けていただきました、沖縄県商店街振興組合連合会、那覇市国際通り商店街振興組合連合会、なはまちぐわー青年部の皆様に心より感謝を申し上げます。

◆ 今後の中小商業支援策等について(中小企業庁)

商店街等で活用できる施策について

●商店街を場として活用した地域のエリア価値向上等に向けた施策に加え、事業者に対して既存の中小企業支援策や、地方公共団体とも連携した地方創生支援策等の活用を促すことで、面(組織力強化・エリア価値向上)と点(商店街内の店舗・事業者)の両面で商店街振興等を後押し。

■ IT導入補助金(複数社連携IT導入枠)

商店街内の複数者が連携して実施する、地域の来街者増や回遊促進等を通じ、生産性向上を図るITツールの導入や消費動向等の分析システムを活用したデジタルマーケティングの実装を支援し、エリア価値向上に繋げていく。

■ 中小企業省力化投資補助事業

IoT、ロボット等の人手不足解消に効果がある汎用製品を「カタログ」に掲載し、中小企業等が選択して導入できるようにすることで、簡易で即効性がある省力化投資の取組を支援。

■ 事業再構築補助金

新市場進出、事業・業種転換、事業再編、国内回帰、地域サプライチェーン維持・強靱化又はこれらの取組を通じた規模の拡大等、思い切った事業再構築に意欲を有する、中小企業等の挑戦を支援。

■ 新しい地方経済・生活環境創生交付金(旧：デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生タイプ))

【内閣府：地方公共団体において実施計画を策定する必要】

デジタルの活用等による商店街活性化をはじめ、観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組を支援。

■ ローカル10,000プロジェクト

【総務省：地方公共団体において実施計画を策定する必要】

産官学金労言の連携により、地域の資源と資金を活用した地域密着型事業の創業・第二創業・新規事業立ち上げを支援。

■ 中小企業投資促進税制

■ 政策金融による商店街・中心市街地支援

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。